

## P1 海洋底の広域マッピング ～海底地形の名称に関する検討会（JCUFN）について～

情報管理課 地名担当

海上保安庁などの海洋調査機関による海底地形調査によって様々な海底地形が明らかになってきました。こうした海底地形については、同じ海底地形を別々の名称で呼んだりすることなどで、大きな混乱を生じることになります。そのため、海底地形は国際機関により定められたガイドラインに従って命名し、広く普及を図っていく必要があります。

海上保安庁では、1966年から、海洋調査機関や関係学会等の有識者を招いて、「海底地名打合せ会」を開催し海底地形名の命名を行っています。2001年からは「海底地形の名称に関する検討会（JCUFN）」へと発展的改称を行い、学識経験者（地理学、海洋底地球科学、史学などの専門家）及び関係機関（水産庁、産業技術総合研究所、海洋研究開発機構）に委員として参加していただき、海底地形名を検討しています。JCUFNではこれまで約1,600件の海底地形名を決定し、公表しています。

JCUFNで決定された海底地形名は国際的にも広く使用されるよう、「大洋水深総図（GEBCO）」の「海底地形名小委員会（SCUFN）」に提案を行っています。

